



# Flash News

三重大学

第84号

目次

- 岡田監督来学
- 平成22年度全学FD入試分析報告会
- お知らせ & ご報告
- 鈴鹿市との連携協力協定を締結
- 北立誠小学校で環境学習
- 施設部から
- 概算要求特別経費に採択
- オーストラリアCoogee Public SchoolとのTV会議
- 入試チームから
- 文科省藤原会計課長来学
- 「地域の環境を守るための活動」
- 人事チームから
- 工学部電気電子工学科JABEEに認定
- 平成22年度全学FD「三重大学教育G Pヒアリングおよび選考会」
- 江戸橋駅の駐輪場整理
- 第4回三重大学国際交流週間2010

## 岡田監督来学



7月20日、サッカーのナショナルコーチングスタッフ岡田武史日本代表監督が早川直樹チーフアスレティックトレーナーと本学を訪れ、内田淳正学長と懇談を行いました。懇談では、岡田武史監督から「教育学部の杉田正明准教授よりサッカー・ワールドカップ南アフリカ大会において日本代表チームに高地トレーニングで多大な貢献をいただきました。また、国内合宿、高地のスィッチ合宿、南アフリカ本大会と5月末からの帯同は、三重大学教育学部保健体育学科の理解と協力があったからこそ実現できました。」と感謝の念を述べられました。同准教授からは、帰国後の7月6日、学長に「貴重な経験をさせてもらいました。スタッフや選手、チーム全員で戦えたことが最高にうれしかった。」と報告があり、選手から贈られたエポフォーム（「高地対策大成功！」と選手全員のサイン入り）を披露されました。



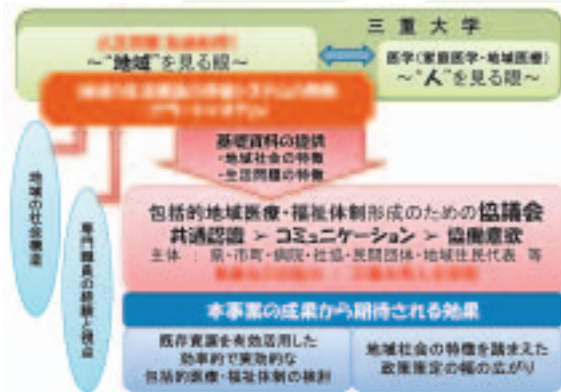
## 鈴鹿市との連携協力協定を締結

6月30日、鈴鹿市役所において、内田淳正学長、川岸光男鈴鹿市長をはじめ関係者出席のもと、鈴鹿市との連携協力協定を締結しました。教育や産業育成など、これまでの連携を深めるとともに、鈴鹿市は自動車産業が盛んなことから、リチウム電池を活用したエコカー開発や、サイクルの仕組み作りを構築するなど、産業の振興や教育・文化、医療・保健・福祉、自然・生活環境などの分野でさらなる連携の強化が期待されます。



## 概算要求特別経費に採択

文部科学省が公募する概算要求特別経費に、本学の「医療過疎地域における多角的評価によるアラートシステムの構築」（課題責任者：深井英喜准教授・人文学部）が採択されました。この事業は、人文学部の社会科学の手法を用いて地域の社会構造や生活構造を分析する評価システムを開発し、地域で個人や家族が抱える生活問題を社会構造の中に捉え、地域資源の横断的活用によってその解決を目指す試みです。今年度より3年間、地域の医療・福祉体制の充実と、地域研究のより一層の深化に努めていきます。



## 文科省藤原会計課長来学

6月24日、文部科学省大臣官房会計課 藤原 誠課長が本学を訪れ、内田淳正学長、坂口 力理事・事務局長や竹田 寛病院長との懇談後、建設中の新病院を視察されました。懇談では、内田学長から本学の概要および新病院計画について説明があり、社会情勢を踏まえた活発な意見交換が行われました。新病院では、病室、手術室、集中治療室、ヘリポートなどを視察され、担当者からそれぞれの施設説明を受けられました。



## 工学部電気電子工学科JABEEに認定

5月13日、本学の標記学科は日本技術者教育認定機構(JABEE)による自己点検書と実地審査(資料の閲覧、補足説明、教員と学生、職員に対する面接、施設見学など)による審査を受け、認定されました。認定分野は「電気・電子・情報通信およびその関連分野」で、この認定審査結果は官報で文部科学省による告示がなされ、2009年度からの卒業生は技術士法により第1次試験が免除され、技術士補として登録することができます。

## 江戸橋駅の駐輪場整理

6月22日～25日、津市の放置自転車対策業務を委託されているシルバー人材センターと本学の環境ISO学生委員会は近鉄江戸橋駅の駐輪場整理を行いました。平成22年2月から始まり、今回で2回目となる、この整理活動は、乱雑な江戸橋駅駐輪場の駐輪状況に関して、本学の学生を中心に「駐輪マナーの向上」を呼びかけることを目的に行っています。今後も、学生の駐輪マナー向上に努めていきます。



## 平成22年度全学FD入試分析報告会

6月23日、メディアホールでHEDC入試広報部門主催の標記報告会「平成22年度入試を振り返る—センター難化と地元国公立志向の実態」が開催されました。今年で3年目となるこのFDは、前年度入試における受験生の動向についての分析に基づいて本学の入試を検討し、改善につなげることを目的としています。当日は、内田淳正学長を含む約60名の教職員が参加し、清水博河合塾中部地区営業部長から、学部別、地区別、国公立別での全国の入試動向や、学部ごとの特徴も含めた本学の入試動向について説明を受けました。

## 北立誠小学校で環境学習

6月25日、本学の環境ISO学生委員会は津市立北立誠小学校4年生に環境学習「志登茂川の環境について」を行いました。簡易水質調査キットを用い、事前に採取した志登茂川の水を水道水や生活排水と比較し、志登茂川の汚れの現状を知ってもらいました。それをもとに学生委員と話し合いを行い、志登茂川の環境保全等の意識を高めることができました。今年度は国連生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が愛知・名古屋で開催されることから生物多様性に関する学習を行い、その成果をCOP10三重大学フェスタやイベントの場等で発表します。



## オーストラリアCoogee Public SchoolとのTV会議「地域の環境を守るための活動」

6月29日、教育学部遠隔授業室において、津市立北立誠小学校6年生とオーストラリアのCoogee Public School 4年生が、互いの学校や地域の環境を守る活動を英語で紹介しました。これは、挑戦的萌芽研究「大学教育における遠隔会議を活用した連携型の国際理解学習の教材開発」(代表:永田成文准教授・教育学部)と一身田・橋北地区連携推進事業の一環として行ったものです。Coogee Public Schoolからはパワーポイントを使って、ゴミで堆肥をつくる取り組みや劇でゴミ捨てを紹介し、北立誠小学校からは、ボードを活用して牛乳パックのリサイクルや地域の地産地消の取り組みを紹介しました。



## 平成22年度全学FD「三重大学教育GPヒアリングおよび選考会」

6月30日、総合研究棟Ⅱの第4会議室およびセミナー室において、標記ヒアリングおよび選考会を内田淳正学長、野村由司彦理事、中川正副学長、教務委員会委員、申請代表者等の出席のもと、全学FDとしても位置付け、公開で実施しました。本年度は、学部等の取組とグループや個人の取組の2種類の取組について公募したところ、23件の申請があり、各申請代表者によるプレゼンテーションおよび質疑応答により実施しました。採択結果については、[http://www.mie-u.ac.jp/gakumu/kyoiku\\_gp/gakunaikyokuigp.htm](http://www.mie-u.ac.jp/gakumu/kyoiku_gp/gakunaikyokuigp.htm)をご覧ください。

## 第4回三重大学国際交流週間2010

7月3日～11日、国際交流センターは標記週間として、留学生研修旅行(京都)、韓国テ、国際協力入門セミナー、日本語・英語の各スピーチコンテスト、外国語のどじまん大会、国際交流パーティ、国際交流スポーツ大会の8つのイベントを開催しました。パーティでは100名を超える参加者が民族衣装の試着、クイズ大会、スライドショー上映などで盛り上がり、参加者同士が新たに友だちになるなど大いに交流が促進されました。また、スポーツ大会では県下の他大学や地元企業からの参加もあり、ソフトボールとバドミントンの熱戦が終日繰り広げられ、選手たちは暑さを吹き飛ばすばかりの活躍と共に友人の輪を広げました。



### お知らせ&ご報告

- 施設部から** 7月1日、施設部カーボン大学推進室を設置しました。期間は、平成24年6月30日までの2年間です。
- 入試チームから** 6月28日、メディアホールで三重県内高等学校進路指導担当教諭との懇談会、  
7月13日、名古屋市のミッドランドスクエアで愛知県内高等学校進路指導担当教諭との懇談会を開催しました。
- 人事チームから** 7月16日～17日、国立曽爾青少年自然の家(奈良県)で本学の平成22年度事務系初任者研修を行い、20名が受講しました。

